

秘

5/1 a 1 e

電信寫

昭和8

暗

哈爾濱 七月廿九日後着

亞

内田外務大臣

森島總領事

第四六二號

本官發滿宛電報

第四一五號

往電第三五九號ニ關シ

其後機會アル毎ニ本官並ニ館員ヨリ外國領事ニ對シ哈爾濱市ト領事團トノ間ニ地方的協定ヲ結フモ何等滿洲國承認等ノ政治問題ニ亘ルコトナント認メラルルニ依リ此ノ際右地方的協定ニ依リ市税問題ヲ根本的ニ解決スルノ得策ナルコトヲ懇談シ來リタル次第ナル處ニ十

八日ノ領事團會議ニ於テ本件議題ニ上リタルカ本官ニ對シ滿洲國側ノ具體的希望ニ付質問セラレタルニ付本官ヨリ滿洲國側トシテハ領事團トノ地方的協定ヲ締結シ右協定ニ依リ外國人カ市税納付ノ義務ヲ承認センコトヲ最モ希望シ居ルモノト了解ス尙哈爾濱市税ノ問題ハ過去ノ歴史モアリ奉天其他ノ都市ト全然異リタル立場ニアルヲ以テ此ノ際協定ヲ結フモ何等差支無カル可ク又治外法權全般ノ問題ニ影響ヲ及ホスノ惧ナント思考スル旨答ヘタルニ領事團トシテハ從來直接滿洲國側ノ意圖ヲ聽取シタルコトナキニ依リ領事團ヨリ委員(英米佛日)ヲ出シ滿洲國側ニ付直接其ノ意圖ヲ確メシメタル上更ニ領事團會議ニ付議スルコトニ決定シタリ次テ右話合ノ相手方ニ付本官ニ對シ質問アリタルヲ以テ本官ヨリ哈爾濱市ハ既ニ特別市トシテ

哈爾濱市

特別區ノ區域外ニ在リ且本件ハ特別市ノ市税ノミニ關スルモノニシ
テ現ニ哈爾濱警察廳ニ於テ徵收中ノ課金ノ如キハ別個ノ問題ニ屬ス
ルヲ以テ市長ヲ相手方トスル方可然旨ヲ述ヘ右ニ決定シタルカ市長
トノ會見日取^等ハ領事團ノ希望ニ依リ本官ニ於テ打合スコトトナレリ
大臣、支、北平、奉天、吉林、齊々哈爾、滿洲里へ轉電セリ

茲ニ參議府ノ諮詢ヲ經テ哈爾濱特別市及其ノ隣接區域ニ於ケル土地
ノ賣買ニ關スル件ヲ制定シ之ヲ公布セシム
執政 溥儀印

大同二年八月二日

國務總理 鄭 孝 胥
民政部總長 臧 式 毅
財政部總長 熙 洽

敕令第六十四號

哈爾濱特別市及其ノ隣接區域ニ於ケル土地ノ賣買ニ關スル件

第一條 北滿特別區長官、哈爾濱特別市長及哈爾濱特別市隣接縣長
ハ土地ノ賣買ニ付契約註冊若ハ國有貸下地權利移讓ノ申請アリタ
ル場合ニ於テ該契約若ハ權利移讓カ將來ノ哈爾濱都市計畫施行上
著シキ支障アリト認ムルトキハ之カ註冊若ハ准許ヲ拒否スルコト
ヲ得

外 務 省

第二條 國又ハ哈爾濱特別市ニ於テ將來ノ哈爾濱都市計畫ニ必要ト認ムル土地ヲ買收セムトスルトキハ其ノ土地ノ所有者ハ正當ナル理由アル場合ヲ除クノ外之ヲ拒ムコトヲ得ス

第三條 前條ノ買收價格ハ大同二年二月二十八日以前ノ時價ヲ基準トシテ協定ニ依リ之ヲ定ム協定調ハサルトキハ民政部總長之ヲ裁定ス

第四條 本令ノ施行ニ必要ナル規定ハ民政部總長之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

外務省

都市部局省令

主務長官 昭和三十八年八月七日

機密第一二三八號

昭和三十八年八月七日

別紙添付

昭和八年八月拾六日授受

九月七日

寫五通

在哈爾濱
總領事 森島守

外務大臣伯爵 内田康哉殿

件名

在哈在留邦人ノ滯稅市稅ニ關スル件

本件ニ關スル 八月五日附 在滿臨時代理大使 宛

拙信 公領 第四四八 號寫送付ス

機密

公領機密第四四八號

昭和八年八月五日

在 哈 爾 濱

總領事 森 島 守 人

在滿洲國

臨時代理大使 栗 原 正 殿

在哈在留邦人ノ滯稅市税ニ關スル件

在哈日本在留民ノ滯納市税問題解決方ニ付本官ニ於テ在留民並ニ市長
間斡旋中ナリシ次第ハ既報ノ通りナル處今同本官ノ提案ニ對シ双方
ノ承諾ヲ取付ケタルニ付八月二日日本官及呂市長ニ於テ八月一日附左記
日文及漢文覺書ニ調印ヲ了セリ同覺書、第一條前段ニ於テ本官カ日本

人及日本法人ヲシテ其ノ滯納ニ係ル土地家屋税並ニ營業税ノ滯納額ヲ
納付セシムヘキコトヲ承認セルハ本件市税ハ既ニ一九二八年八月總領
事ト張特區行政長官間協定ニヨリ日本在留民カ納付義務ヲ負擔スルコ
トトナリ居ルノミナラス今回本官ヨリ各滯納者ヲ招集懇談ノ結果滯納
者側ニ於テ覺書條項ニヨリ納付方ヲ承諾セルカ爲ナリ
又第一條第一項ニ於テ土地家屋税ハ原則トシテ民國十七年以後ノ分ヲ
完納セシメ第二項ニ於テ營業税ニ就テハ民國二十年一月一日以後即大
體滿洲國成立以前ノ分ヲ帳消シニシタルハ土地家屋税ノ納付義務者、
殊ニ大口納付義務者ノ大部分ハ法人ニシテ納付能力ヲ有スルモノナル
ニ反シ營業税納付義務者ハ必スシモ然ラサルカ爲ナリ
尙在留邦人ノ納税ニ關スル將來ノ方針ニ於付テハ本官ヨリ本省並ニ貴

大使館ト協議中ナル一方目下本官ニ於テ領事團ト市當局間ヲ斡旋外國
 在留民ノ納税問題解決ニ盡力中ナルヲ以テ其ノ結果ヲ見極メタル上決
 定致シ度ク今回ノ覺書ニハ單ニ第三條現定事項ニ止メタル次第ナリ
 右報告申進ス

本信寫送付先

外務大臣 在中華民國公使

在北平首席書記官

在奉天 吉林 齊々哈爾 滿洲里各總領事領事

元哈爾賓特別市在留日本人及日本法人ノ
 滯納市税納入ニ關スル協定覺書

元哈爾賓特別市在留日本人及日本法人ノ滯納市税納入方ニ關シ在哈爾
 賓日本總領事森島守人（以下單ニ甲ト稱ス）ト哈爾賓特別市長呂榮實
 （以下單ニ乙ト稱ス）トノ間ニ左記ノ通協定ス

記

第一條 甲ハ在哈日本人及日本法人ヲシテ其ノ滯納ニ係ル次掲ニ稅ノ

滯納額ヲ納付セシムヘキコトヲ承認ス

(一) 自民國十七年一月一日 房地估價捐

但シ事情万已ムヲ得サルモノニ付テハ別ニ協定ス

(二) 自民國二十年一月一日 商工營業稅

至大同貳年六月三十日

昭和四年六月
 市日協定ニ關シ
 民國十七年四月
 一、以前ノ滯納
 税ノ額ハ別ニ
 協定ス
 二、以後ノ滯納
 税ノ額ハ別ニ
 協定ス
 三、以前ノ滯納
 税ノ額ハ別ニ
 協定ス
 四、以後ノ滯納
 税ノ額ハ別ニ
 協定ス

但シ前二項滞納市税ノ延滞利息ハ之ヲ免除シ其ノ滞納額並ニ納
入期間ニ付テハ別ニ之ヲ協定ス

第二條 乙ハ甲ニ對シ本件ニ關シ日本居留民ノ社會公共施設費トシテ
總額哈大洋貳萬元（國幣壹万六千圓）ノ補助金ヲ交付スルコトヲ
約ス

前項補助金ノ交付期間ニ付テハ別ニ之ヲ協定ス

第三條 甲ハ乙ニ對シ將來トモ日本人及日本法人ノ市税納付ニ付出來
得ル限りノ方法ヲ以テ便宜ヲ與フルコトヲ約ス

第四條 本協定ヲ證スル爲本覺書滿文、日文各二通ヲ作成シ各自滿文
日文各一通ヲ所有スルモノトス若シ本覺書ニ疑議ヲ生シタルトキ
ハ滿文ニ憑ルモノトス

昭和八年八月一日

哈爾濱日本總領事 森 島 守 人
哈爾濱特別市長 呂 榮 襄

關於前此駐哈爾濱日人及日本法人滯納市稅今後納入之協定條文
關於前此駐哈之日人及日本法人滯納市稅納入之方法一事經駐哈
日本領事森島守人（以下簡稱甲）與哈爾濱特別市長呂榮寰（以下簡稱
乙）兩方協定如左

計開

第一條 甲關於在哈日人及日本法人滯納之市稅以下兩種市稅滯納之欠
額均承認使之交納
（一）自民國十七年一月一日 房地估價捐
至大同二年六月三十日
但有萬不得已之事實得另行規定
（二）自民國二十年一月一日 商工營業稅
至大同二年六月三十日
但對於前二項之滯納市稅延滯利息須行免除而關於滯納額及納入期

間另行協定

第二條 乙對甲關於本案約定交付日本居留民之社會公共施設費補助金
總額哈洋貳萬圓（國幣壹萬六千元）
前項補助金之交付期間另行協定
第三條 甲對乙約定關於將來日本人及日本法人之交納市稅在可能之範
圍內予以便利
第四條 為證明本協定條文起見將本覺書繕具滿文日文各兩份甲乙兩方
各存滿日文一份將來如發生疑義時以滿文為憑
大同二年八月一日

哈爾濱日本總領事 森島守人
哈爾濱特別市長 呂榮寰

告示第一一號

哈爾濱特別市在留本邦人ノ市税ハ昨年（民國十七年）四月一日分ヨ
リ之ヲ納入スヘキ旨本年六月五日同特別市臨時自治會ニ於テ決議ア
リ當館ハ今般右決議ヲ承認シタルニ付同特別市在留本邦人ハ右決議
ニ準據シ適法ニ市政局ヨリ送達セラルヘキ納稅告知書ニ依リ市稅ヲ
納付スヘシ

右告示ス

昭和四年八月九日

在哈爾濱日本總領事館總領事 八木元八

外務省

8.4

REEL No. A-0459

0148

アジア歴史資料センター

哈爾濱市別冊

昭和8 略 哈爾濱 本 省 八月廿三日後着

内田外務大臣 森島總領事

第五二〇號ノ一

(一)最近當地在留邦人激増シ實數一萬ヲ突破スル實情ニアリ右ニ伴ヒ
居留民會關係各種施設ノ擴張ヲ必要トスル爲經費甚々膨脹シ就中
教育費ノ増大(兒童數事變前ノ二倍總數七百名ニ上ル)ハ到底同
民會ノ豫算ヲ以テシテハ之ヲ支ヘ得サルコト明カナリ本官ニ於テ
ハ遊興費ノ新設哈爾濱市ヨリノ補助金ノ支給等右財源捻出ニ關シ
種々苦心シ居ル次第ハ屢次ノ電報又ハ報告ニ依リ御承知ノ通ナル
所一方茲ニ往電第一一四號末段報告ノ通當地民會ニ於ケル約四十

電信寫

本報ハ此ニ對シテ
ハ即ち本報
ハ即ち本報
ハ即ち本報
ハ即ち本報

萬圓ノ負債ハ民會財政上ノ癩ニシテ將來ノ專應ニ備フルカ爲ニハ
速ニ根本的ニ整理スルヲ要ス右措置方ニ付テハ當地ニ於テ關係各
方面ト目下非公式ニ折衝對策樹立方折角考究中ナルカ他方滿洲事
變及客年ノ大水害並ニ惡疫流行ニ對スル巨額ノ非常支出ニ對シテ
ハ未タ回收又ハ補足ノ道充分立タサルモノアル實狀ニ付本省ニ於
テモ折角御考慮ノ次第トハ存スルモ茲ニ電請中ノ防水防疫非常支
出金ニ對スル國庫補助方至急御詮議相願度本件ニ關シテハ田尻課
長ニ對シテモ事情説明シ置キタルニ付委細御聴取ノ上御處理相煩
ハシタシ(續ク)

電信寫

昭和8

略

哈爾濱
本省

八月廿三日發着

亞

内田外務大臣

森島總領事

第五二〇號ノ二

(一) 尙過般開設ノ赤十字社診療所ハ醫療機關不充分ナリシ當地ノコトニモアリ内外人ヨリ非常ナル好評ヲ博シツツアル處診療所トシテ借入レタル市立第一病院ハ比較的狹隘ニシテ入院患者六十名内外ヲ收容シ得ル程度ニ過キス出來得レハ施療患者並ニ傳染病患者ハ別棟ニ收容シ患者ノ爲ニ病室ノ餘裕ヲ存シ置キ度ク存シ居ル次第ナルカ客年當地惡疫流行ノ際當地民會ニテ急造セル傳染病患者用「バラツク」(約五十人收容シ得)ハ其儘使用セス放置シアリ而

モ之カ保存維持ニハ民會ニ於テモ相當ノ費用ヲ要スルニ付今後傳染病流行等ノ際ニハ民會ヲシテ優先的ニ使用セシムルコトノ條件ノ下ニ右「バラツク」ヲ赤十字社側ニ寄贈又ハ使用セシメ右ニ傳染病並ニ施療患者ヲ收容セシムルコトトセハ赤十字、民會並ニ居留民ノ各方面ニ好都合ナル次第ナルモ其「バラツク」築造ニ對シテハ當時民會ニ於テ約七千五百圓ヲ非常支出シアリ右費用ニ對シテハ(一)末段ノ通本省ヨリ補助ヲ得居ラサル爲今日迄始末着キ居ラサルニ依リ旁(一)稟請ノ補助金ハ此ノ際至急御支出相成度ク本省御支出以外ノ分ニ對シテハ大使館保管ニ係ル水災義捐金殘額中ヨリ金五千圓支出方大使館側ト打合濟ニ付至急御送金ヲ得度シ

滿へ轉電セリ

逕細更局

普通第一三六六號

昭和八年

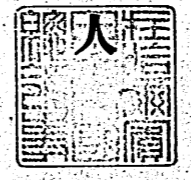
九月廿七日

第三課長了

都庁(市政)

昭和八年九月五日發
別紙添付

在哈爾賓
總領事森島守



外務大臣 廣田 弘毅 殿

件名

哈爾賓市街地圖送付ノ件

本件ニ關スル

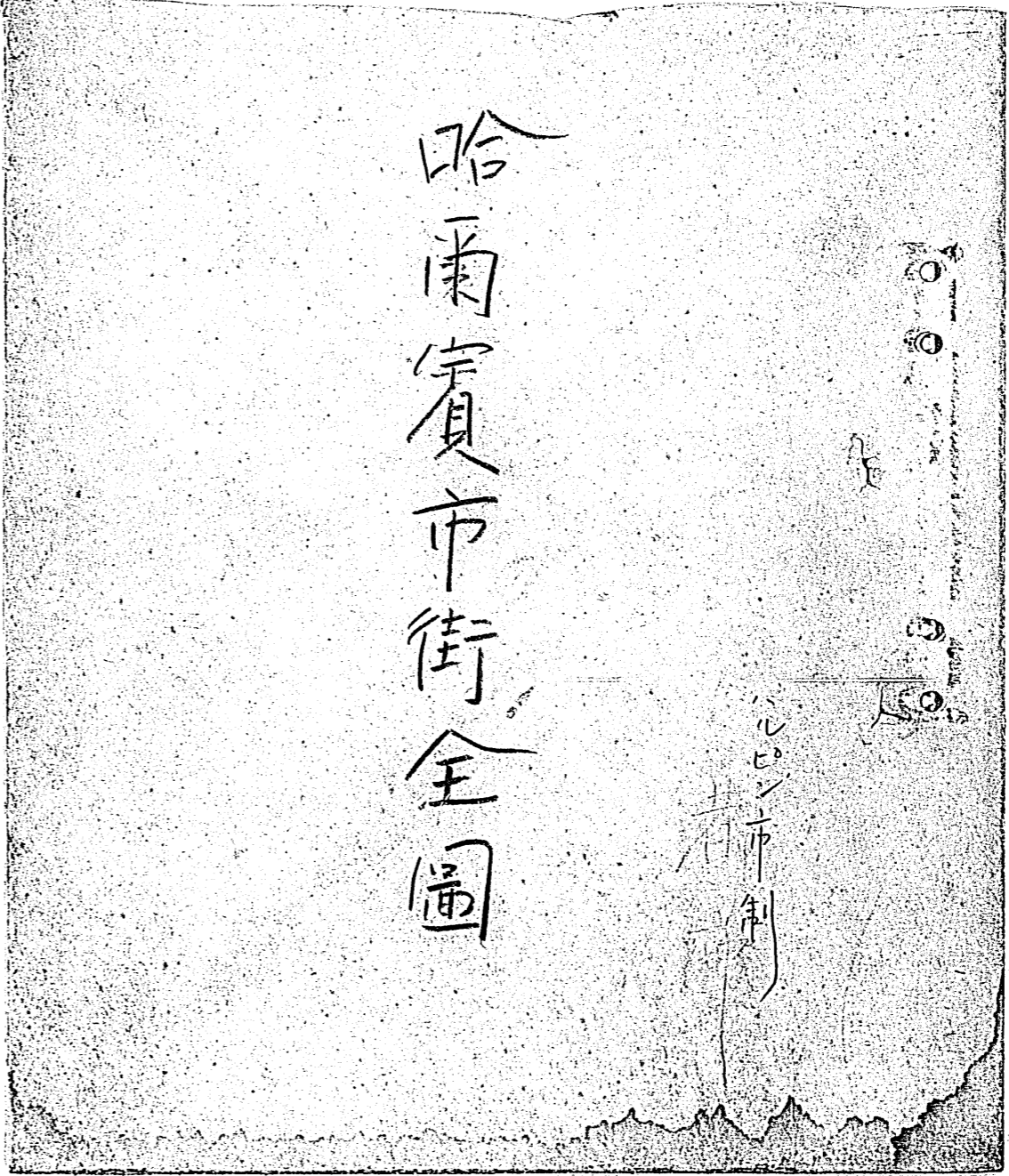
九月廿七日附

在滿大使宛

拙信 公領 第

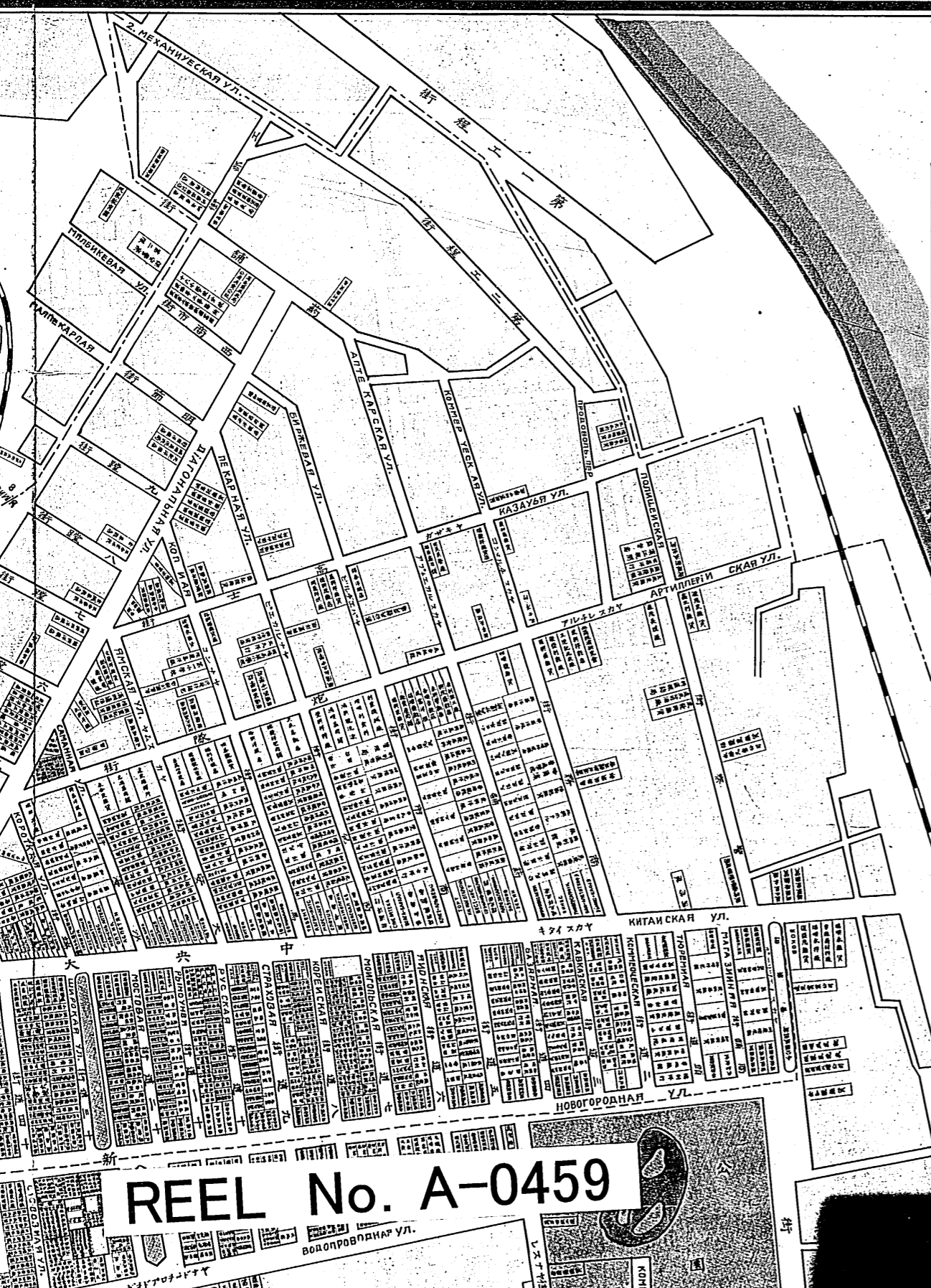
五五〇 號寫送付ス

REEL No. A-0459



REEL No. A-0459

0152



圖地街市濱爾哈新最

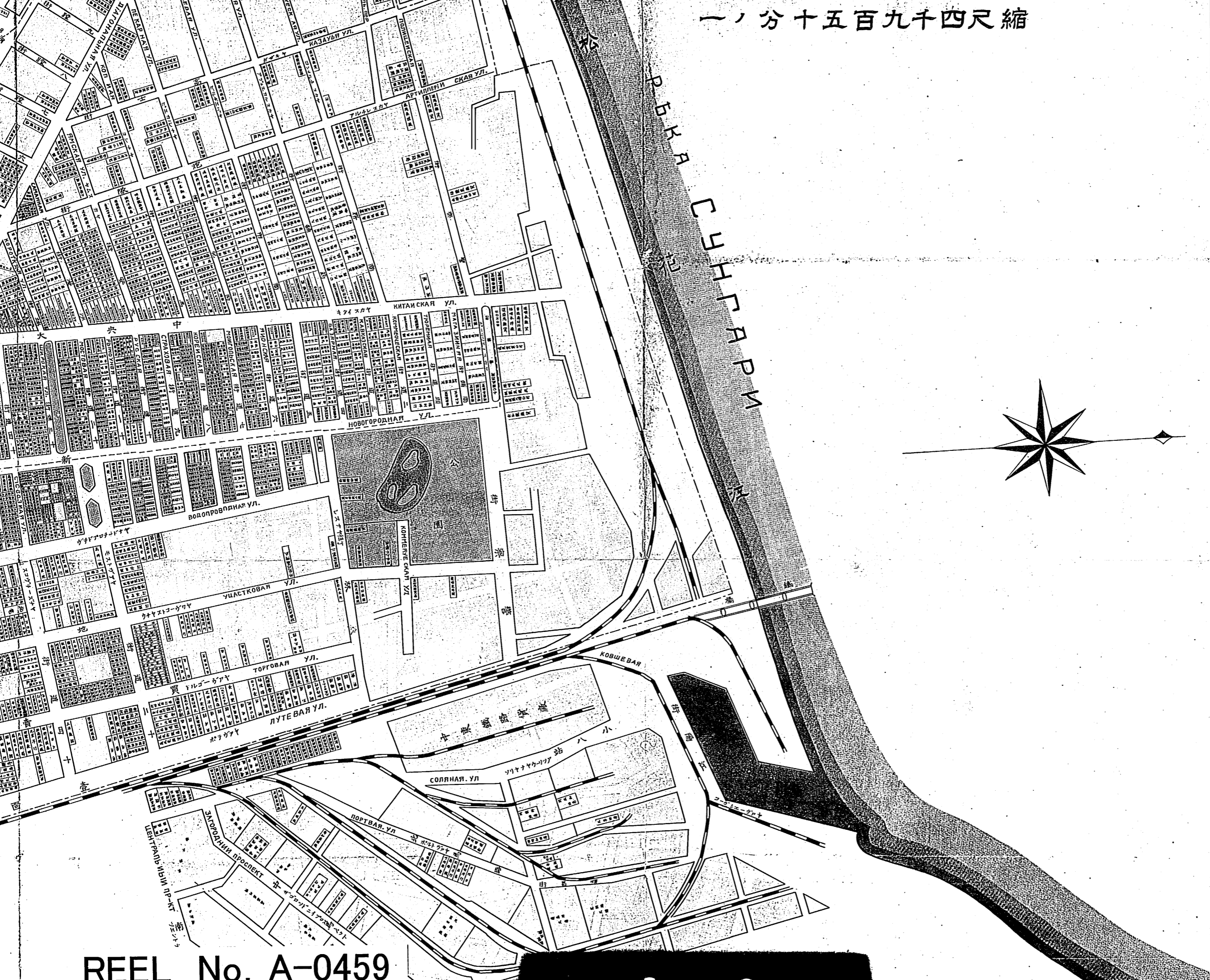
部之埠安新及裡道

一ノ分十五百九千四尺縮

РВКА
СЯНГАРМ

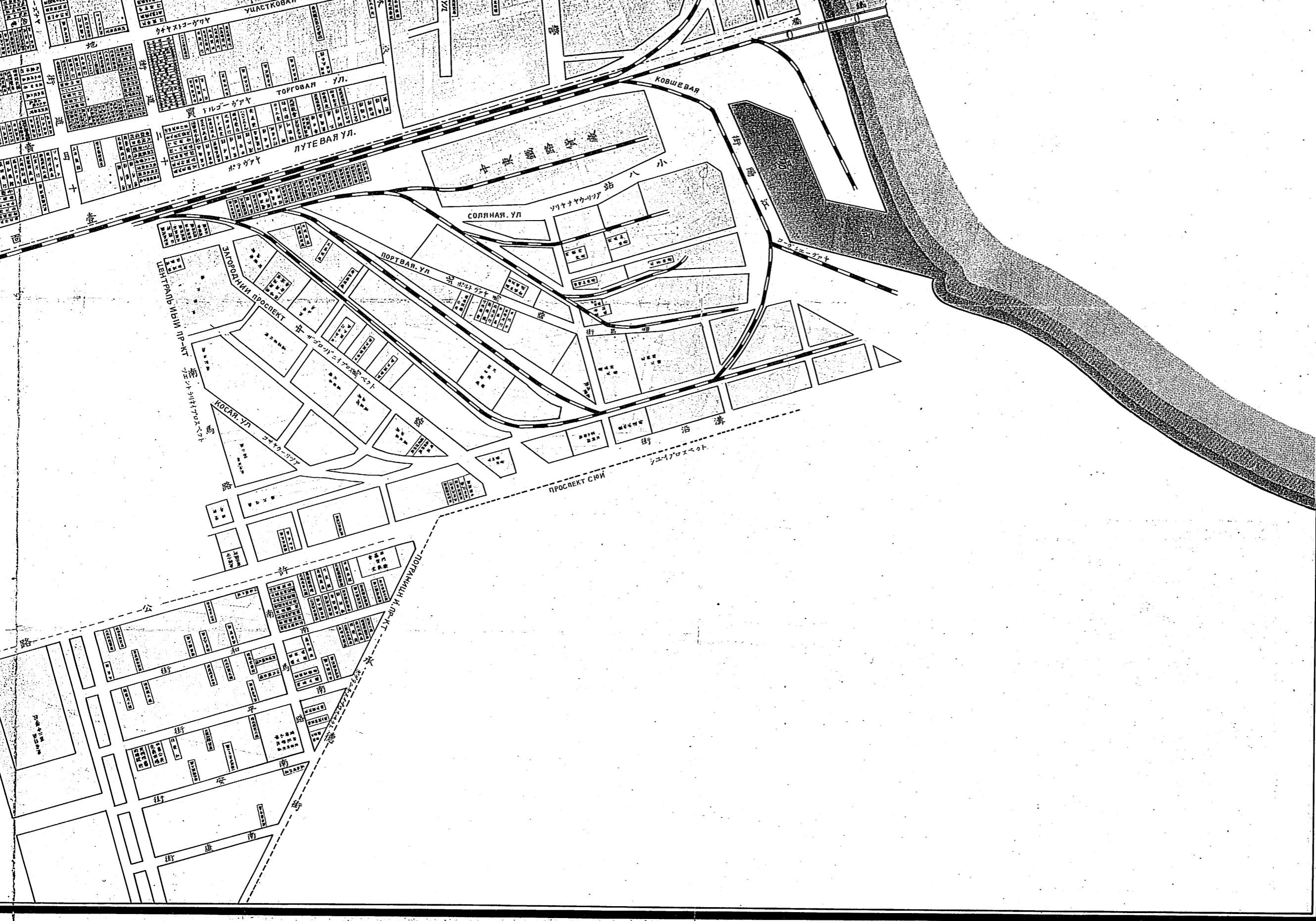


縮尺四九千五百一十分一



REEL No. A-0459

アジア歴史資料センター



REEL No. A-0459

0 : 5 5

アジア歴史資料センター



東鐵總工廠

地圖部

Р. Д. К. Р. С. А. Н. П. Т. Р. А.

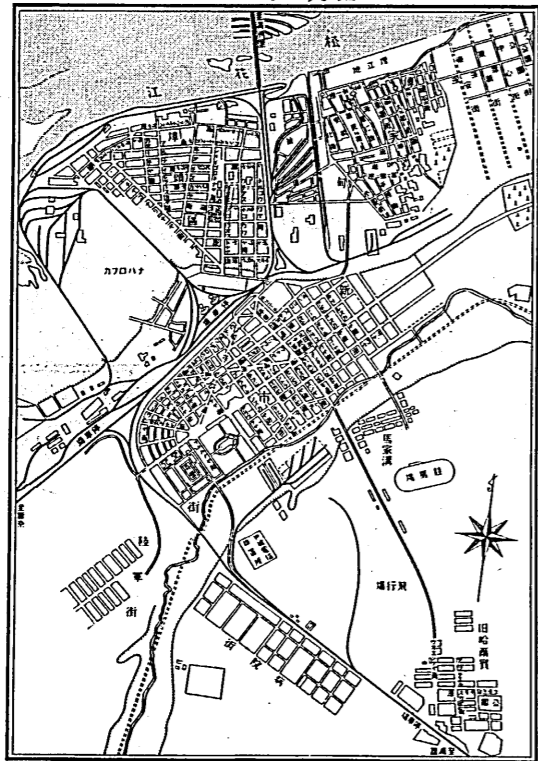
REEL No. A-0459

0155

アジア歴史資料センター

圖街市濱爾哈

一之分万六尺縮

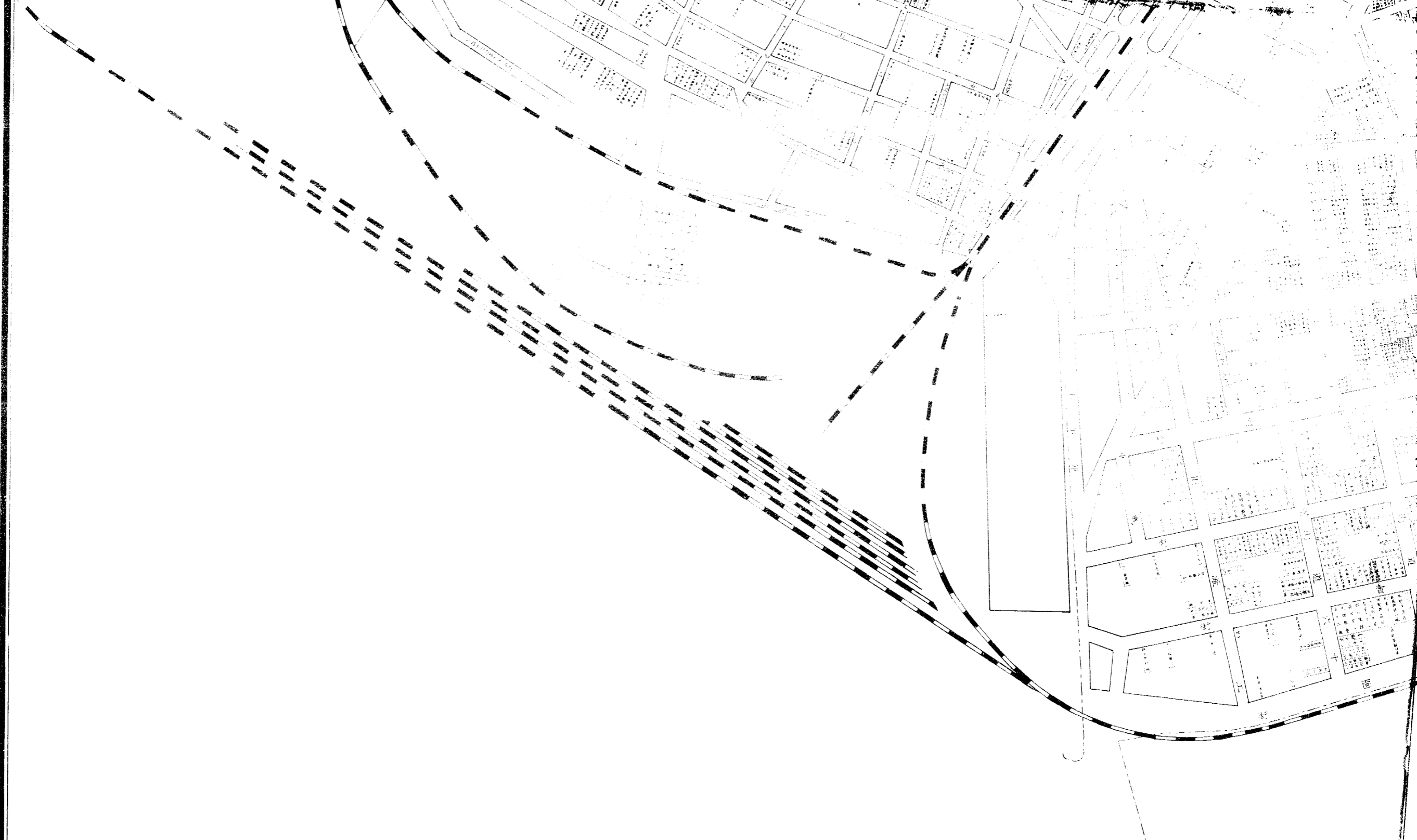




REEL No. A-0459

0159

アジア歴史資料センター



哈爾濱市街圖

例		凡	
	市區界		電 車 路
	河		鐵 道
			道 路



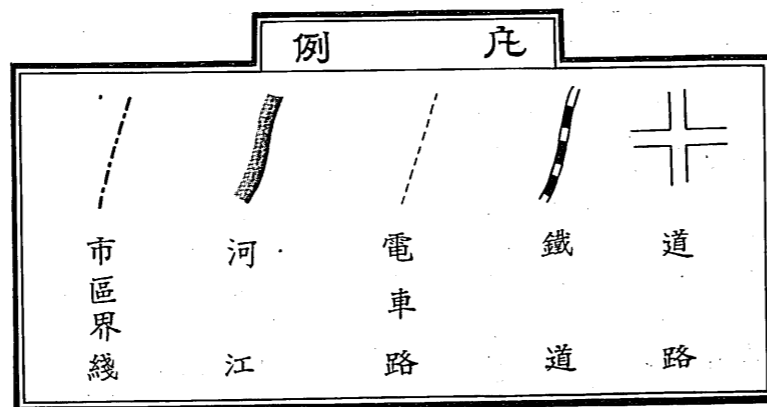
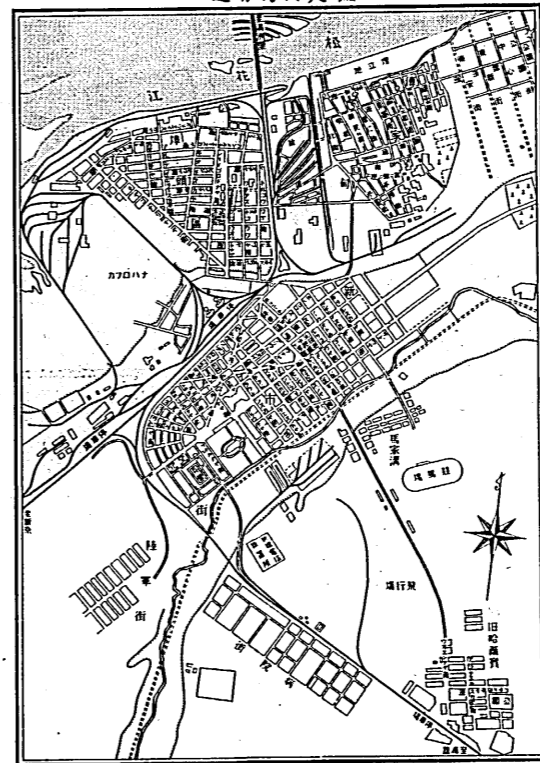
REEL No. A-0459



編輯人 清水敏夫
 發行人 小島信治
 發行所 滿洲發展社
 印刷人 本川福四郎
 印刷所 東京市千代田区一丁目一番地 東洋オフセット印刷株式会社



哈爾濱市街圖
縮尺六分之二



最新哈爾濱市街地圖

傅家甸之部

縮尺二千七百五十分一



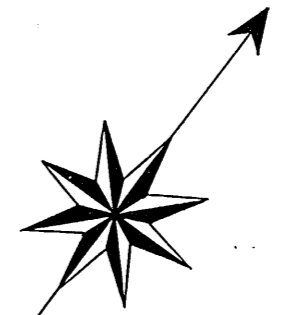
REEL No. A-0459



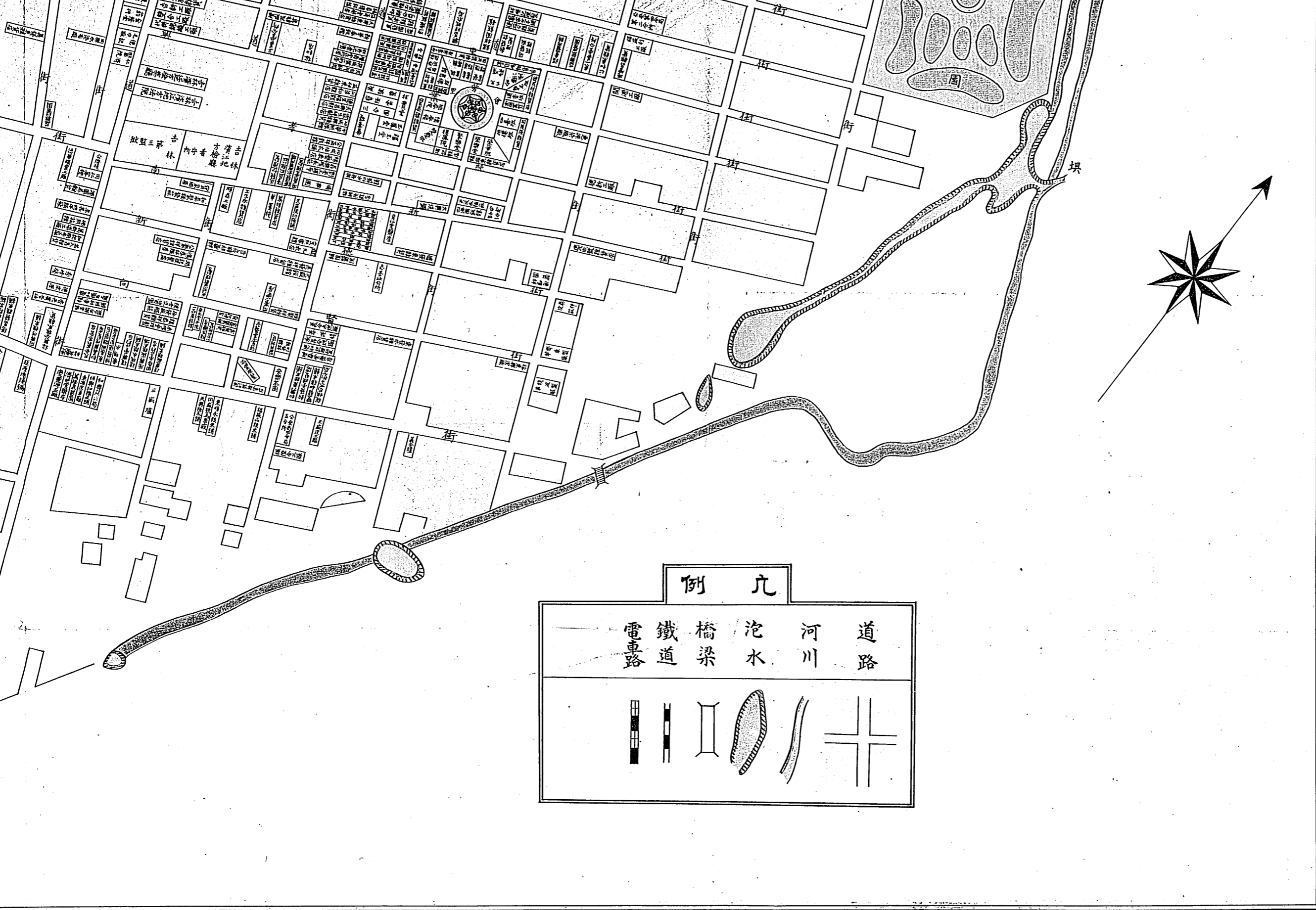
東

江

堤



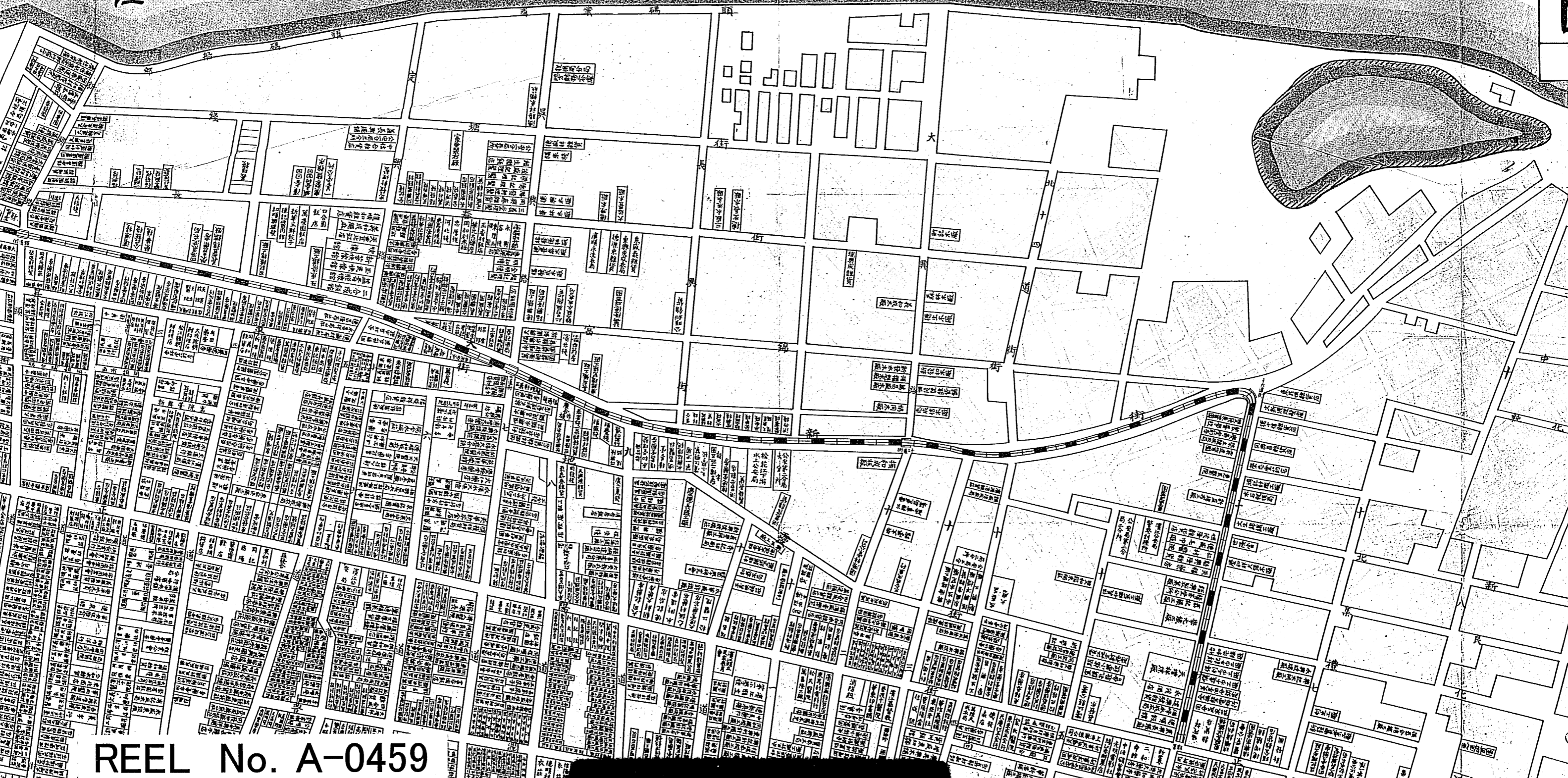
REEL No. A-0459



例 凡

電 車 路	鐵 道	橋 梁	泡 水	河 川	道 路

江 峯 松



REEL No. A-0459

0188

アジア歴史資料センター



REEL No. A-0459

アジア歴史資料センター



REEL No. A-0459

0 : 5 8

アジア歴史資料センター



REEL No. A-0459

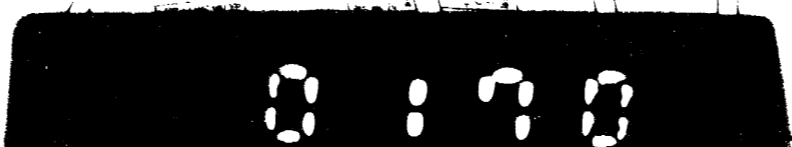
昭和八年五月廿二日
昭和八年五月廿二日

(不詳)

0189

アジア歴史資料センター

REEL No. A-0459



アジア歴史資料センター

公領第五〇號

昭和八年九月二十七日

在 哈 爾 濱

總領事 森 島 守 人

在 滿 洲 國

特命全權大使 菱 刈 隆 殿

哈爾濱市街地圖送付ノ件

別添「哈爾濱市街地圖」一部（二葉在中）茲ニ送付ス右ハ最新刊ニシテ從來刊行ノモノニ比シ街名等日露兩文ニテ見易ク記載シアリ執務上何等御參考ト相成ルヘント存スル次第ナリ尤モ過般成立シタル哈爾濱特別市當局ニ於テハ目下新都市計劃考慮中ナルヲ以テ該圖面中道路ヲ

記載シアルモ未タ實際市街地ヲ形成シ居ラサル近郊ニ屬スル部分ハ將來變更ヲ生スルコトアルヘキモ新都市計劃決定後ニ於ケル地圖ハ入手次第追送ノ所存ナリ

本信寫送付先

外 務 大 臣

在 吉 林 齊 々 哈 爾 各 總 領 事 領 事



電信課長

大臣

次官

亞細亞

歐米

通商

條約

情報

文化

人文

文書

會計

寫送先

分送 4.2.3.6

10.9

記録係 哈爾濱特別市記録係

昭和8 一九七三五 暗

本 哈爾濱省

十月八日前着

亞

廣田外務大臣

森島總領事

第六五四號 (極秘)

本官發滿宛電報

第五九四號

當地北滿特別區長官公署ニ於テハ過般同公署地畝局貸下土地ノ未納
借地料(二百五十萬圓ニ上ル由)ヲ十月十五日迄ニ納付ス可ク未納
ノ者ハ土地ヲ取上クヘシトノ命令ヲ發シタル趣ヲ以テ關係滿洲人側
ヨリ非公式ニ本官ニ對シ右ノ如キハ實情ニ適セサ尠亂暴ナル遣口ニ
シテ何等カ善後措置ヲ講セサル限り結果憂慮スヘキモノアルヘシト

外務省

テ本官ノ内面的斡旋ヲ得度旨願出ノ次第アリタリ右特別區ノ發令ハ
財政逼迫ノ極已ムヲ得サルニ出テタル措置ナル可キモ十數年以來等
閑ニ付セラレタル問題ヲ一舉ニ解決セントスルカ如キハ行過キタル
嫌多ク且本邦人ノ滯納市稅問題ニ關シ本官ト呂市長トノ間ニ穩健ナ
ル解決方法ヲ講シタルニ比較シ(往電第三五八號參照)其ノ差餘リ
ニ顯著ナルモノアルノミナラス實際問題トシテハ數萬圓ノ滯納料金
ノ一時拂ヲ強(要)スルニ於テハ市中破産者ヲ出スノ惧無キニアラ
サル可シ尙本件發令ノ内面的事情ヲ探知スルニ呂長官ハ豫テ右命令
ニ反對意見ヲ有シ居タルニ拘ラス同長官大連出張中日系官吏ニ於テ
獨斷專行シタルモノノ趣ニシテ滿人側ニ於テハ右内面ノ事情ヲ略探
知シ居ルカ如ク世上一般ニ日本人カ多額ノ資金ヲ準備シ貸下取消ノ

外務省

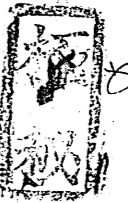
REEL No. A-0459

土地ヲ取得スヘク手配中ナリトノ宣傳モ傳ハリ滿洲人一般ニ對シ極
メテ不良ナル感觸並「センセイション」ヲ與ヘ居ルコト確實ナリ本
官ニ於テハ本件カ將來大局上極メテ不利ナル影響ヲ與フ可キヲ考慮
シ當地特務機關トモ協議ス上官意ノ威信ヲ維持スルト共ニ民間ノ苦
惱ヲ除去スルカ爲ニハ商務會其ノ他ノ民間團體ヲシテ長官公署ニ請
願ヲ爲サンメ右請願ニ基キ長官公署ニ於テ本件命令ヲ緩和スルノ方
法ヲ採ルコト此ノ際善後措置トシテ最機宜ニ適スルモノト認メタル
ヲ以テ右方針ニテ解決方側面的且内面的ニ斡旋中ナリ本件ニ付明八
日長官ニ會見ノ所存ナルモ長官公署樋口總務科長ハ民政部ト協議ノ
爲赴京セルニ付内密ニ民政部竹内總務司長ト圓滿解決方御懇談相煩
スヲ得ハ幸ナリ

外務省

大臣へ轉電セリ

外務省



電信課長

大臣
次官

亞細亞
歐米
通商
條約
情報
文化
人事
文書
會計

寫送先

10.17

記録件名 哈爾濱特別区域再保事件

昭和8 一九八一八 暗

新京 九日後發
本省 十月九日後着

菱刈大使

廣田外務大臣

第一二二二號(極秘)

本官發哈爾濱宛電報

第一八三號

貴電第五九四號ニ關シ

館員ヲシテ竹内ニ懇談セシメタル處恰モ樋口モ來合セ居リ其言フ處ニ依レハ本件土地ハ口數ヨリ云ヘハ約五分ノ四地積金額ヨリ云ヘハ二分ノ一ハ借受ケ人モ判明セサル等ノ事情アリテ夙ニ整理ノ必要ヲ認メ居タルモ長官公署ニ於テモ一氣ニ解決スルコトノ不可能ナルコト

外務省

トハ充分承知シ居リ今回ノ處置ハ不穩當ノ嫌アルヘキモ之ニ依リテ反應ヲ見極メントシタル迄ニテ實際上ノ解決ハ借地人側(商務總會及哈爾濱土地建物組合ノ見込)ヨリノ歎願ヲ待テ商量スルコト略貴電御來示ノ趣旨ニテ遲フ手筈トナリ居レリ又呂長官ハ今回ノ措置ヲ全然知ラサリシ譯ニアラス邦人市稅問題トノ關係モアルコトナレハ其立場ヲ顧慮シテ日系官吏專行ノ形トシタル次第ナリトノコトナリ(此ノ點貴官限りノ御含迄)尙邦人カ貸下取消土地ノ取得準備云々ハ「デマ」ニシテ特務部考案中ノ土地會社ハ本件ニハ何等關係無キ趣ナリ

大臣へ轉電セリ

外務省

REEL No. A-0459

0175

アジア歴史資料センター

10.19
10.19

電信課長

大臣

次官

亞細亞
歐米
通商
條約
情報
文化
人事
會計

寫送先

昭和8 一九八三四 暗

哈爾濱 九日後發
本省 十月九日後着

森島總領事

亞

廣田外務大臣

第六六〇號

本官發滿宛電報

第五九七號

往電第四一五號ニ關シ

其後市側トノ交渉ハ次席領事其他主要國領事旅行中ナリシ等ノ爲一
二回市長ニ會見シタル以外特別ノ進捗ヲ見サリシ處市當局側ニテハ
自治委員會ノ制定ヲ急ク要アリトテ外人側二名ノ委員選定方督促ア
リ九日領事團會議ヲ開催審議ノ結果在留民多數ノ故ヲ以テ波蘭人ヨ

分送A,4,2,3,6)

外務省

リ一名其他ノ治外法權國人ヨリ一名ノ委員ヲ推薦スルコトナレリ
英米佛領事ニテ小委員會ヲ作り右ニ該當スルモノ四名(二名ハ豫備)
ヲ選定シ本官經由市當局ニ推薦スルコトニ決定セリ
冒頭往電ノ通轉電セリ

外務省

哈爾濱特別市局長 森島

電信寫

Share

上海
天津
青島

昭和8

略

哈爾濱
本省

十一月廿八日後着

亞

廣田外務大臣

森島總領事

第七八〇號

本官發奉天、新京、吉林、齊々哈爾、滿洲里、營口、北平、上海、
廣東宛電報

合第一四九號

當地ニ於テハ在留民ノ激增ニ伴ヒ初等並ニ中等教育問題ノ解決焦眉
ノ必要ニ迫ラレ居リ之カ爲民會公課金賦課率ヲ改訂センメ度所存ニ
付右參考ノ爲貴地日本民會又ハ民團ニ於ケル(一)現行公課金種別(二)賦
課等級別(三)本年度課金總課算額(四)現在負擔者總數及公課金別ニ依ル

負擔者數(五)上海ニ於ケル工部局等ノ如ク他ノ機關ニ對シ在留民ヨリ
納付シ居ル課金アラハ其ノ賦課率等ノ諸事項ニ付詳細御取調至急御
回報相煩度尙本年度在留民賦課査定名簿寫アラハ一部併セテ御送付
相願度シ

本電宛先、奉天、新京、吉林、齊々哈爾、滿洲里、營口、北平、天
津、上海、南京、青島、濟南、漢口、福州、香港、廣東
北平ヨリ天津、青島、濟南へ、上海ヨリ南京、漢口、福州へ、廣東
ヨリ香港へ轉電アリ度シ
大臣、滿へ轉電セリ

臣

Handwritten marks

本年の末までには
水道の水が飲める
資金三百萬圓で第一期工事
先づ中心地帯に配水

26

哈爾濱

哈爾濱四十四萬市民が渾身の力をこめて、その實現を待ちわびる上水道の完成は、第一期の水は井戸水に依ること、決定し、昨秋以來、開工準備に勤められ、水源問題も完全解決したが、市公署に依つて送出するにあつた。目下はモストワヤ、キタイスカヤ等密集地帯の部分配水を開始することが出来ることとなる模様である。

第一期の經費國幣約三百萬圓と略々決定を見、後約八ヶ月、本年末にはモストワヤ、キタイスカヤ等密集地帯の部分配水を開始することが出来ることとなる模様である。

哈爾濱日日新聞 昭和九年一月廿六日

哈爾濱市制
市公署刊行ノ
資料送附方依頼ノ件

文書課長

懸案

文書課發送	昭和九年貳月六日	發送済	淨書	正校(原稿)	(淨書)
管主	亞細亞局長	主任	亞細亞局長	昭和九年一月三〇日	
受信人	左 哈爾濱市	發信人	菅田大臣	日附	附屬
名	哈爾濱市	件	哈爾濱市制	名	件
記	哈爾濱市	録	哈爾濱市	名	件

公署刊行ノ資料送附方依頼ノ件

哈爾濱市公署編纂第二係に在記刊行物ハ、方朝務上有益ナル者ヲ認メ、リルニ付、右各

2 82